

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・コロナ禍の中、できる限り通常の授業・学校行事に近い形での実施となるよう工夫しながら全職員で考えて取り組んだ。校内研究で取り組んでいる道徳教育については、道徳教育推進教師を中心に、互いの良さを伝え合い、認め合う道徳科の授業づくりに対する職員の学びが深まった。 ・学力向上については、基本的な知識・理解の習得に課題があるため、今後も全職員で取り組むこととする。また、タブレット端末を活用した授業づくりを進めるとともに家庭学習も定着させたい。 ・教職員の働き方改革については、職員の意識は高まりつつある。今後も教職員の意識改革と、疲労感軽減、働きやすさに向けて工夫する必要がある。
------------------	--

2 学校教育目標	笑顔いっぱいの学校づくり ～温かい心で認め合い、励まし合い、支え合う子どもの育成を目指して～
----------	---

3 本年度の重点目標	① 考える力：道徳を軸とし、他教科での言語活動の充実を図る。 ② 心の力：家庭・地域と連携した体験活動や人権教育の充実を図ることで、豊かな心を育む。 ③ 体の力：体力向上をめざし、健康教育を推進する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・教職員間で、マイプランを共有するとともに、職員研修等により取組の推進を図る。							
	○児童が目的意識をもちながら学び合い、自分の考えを深めたり広げたりする授業を行う。	○アンケート(授業中友達と話し合ったり、学び合ったりしながら学習していますか。)で交流活動に肯定的な回答をする児童80%以上	・唐津学びスタイルチェックシートの実践を図り、主体的・対話的で深い学びへつながる授業改善を行う。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「命を大切にしている」「まわりの人のことを思いやり、進んで親切にしている」「差別をしないで、だれに対しても同じように接している」について、肯定的な回答をした児童85%以上	・授業に伝え合う活動を入れ、互いの意見を尊重し、認め合えるような学級づくりに取り組む。 ・人権教育(人権集会等)の全校的な取組の充実。 ・学習した道徳的価値を深めるために、週末の「家族でタイム」(道徳教材を家族で読んだり話したりする取組)を推進する。							
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員95%以上 ○アンケートで「学校が楽しい」と回答する児童90%以上	・いじめアンケート等を通して児童の状況を把握し、いじめの早期発見や早期解決に取り組む。 ・生活指導協議会や児童理解研修会等で気になる児童の情報共有を行い組織として対応する。							
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	○「がんばりたいことや目標をもって、それを最後までがんばっている」について、肯定的な回答をした児童85%以上	・地域の方との交流や体験活動、学校行事等でサッカー(目標・振り返りカード)を活用し、自分を見つめる機会を計画的に設定する。 ・桜カードに保護者や地域の方から児童へのメッセージを書いていただくことで、自分や友達を多面的、肯定的に捉える機会をつくる。							
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●休み時間以外で遊ぶ児童の割合85%以上	・天気のよい日以外で遊ぶことを推奨する。 ・運動会、持久走大会など体育的行事に向けた児童の自主的な取り組みを進める。							
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童90% ○児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○自転車の乗り方等について、「交通ルールを守っている」と回答する児童80%以上	・給食週間に取り組む。 ・食育、給食指導の充実を図る。 ・避難訓練や安全教室などの計画的に実施する。 ・校区内の通学路や危険箇所の点検を行う。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・伝達事項は文面で伝え、協議するものを絞ることで、職員会議を1時間以内、職員連絡会は20分以内で行う。その達成率を80%以上とする。							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)								
○特別支援教育の充実	●職員の特別支援教育に対する専門性の向上	●アンケートで、児童や保護者対応についての意識向上80%以上	・職員対象の研修を行い、児童理解と指導力の向上を図る。 ・定期的(1月に1回程度)にケース会議を開き、より適切な指導に取り組んでいく。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------